

鈴木知事(右から2人目)に寄付金の目録を手渡した事業者の代表者ら=県庁で



ギフトセットは「開催記念酒セット」と題し、大田酒造(伊賀市)の純米大吟醸「半蔵神の穂」と、まる市)の「真珠のチャーム」を詰め合わせた。

主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)の開催を記念して、地酒などの名産品を詰め合わせたギフトセットを作った県内の事業者が七日、売上金の一部として、十万円を県を通じて県国際交流財団に寄付した。



記者会見で参院選三重選挙区への立候補を表明する野原氏=県庁で

幸福実現党県本部の野原典子副代表(左)は七日、県庁で記者会見し、「愛する日本の政治に精神的主柱を立てたい。信頼される政治家を目指したい」などと述べ、党公認候補として夏の参院選三重選挙区(改選数一)への立候補を表明した。

野原氏は「政治家と国民が信頼し、互いに敬える政治をしたいと考えて立候補を決めた」と述べ、暮らしや国防、教育に注力すると

書される恐れがある」とし、マイナンバー制度の廃止を掲げた。消費税は「5%に戻すべき」と述べた。

県の特長について「日本の成り立ちに関わる神社や地名が多く、神話が詰まつた素晴らしい所」と説明。

「子どもたちに伊勢神宮や古事記の歴史を教えれば、自信を持ってもらえるはず」と語った。

会見には糸量子党首も出席。参院選では全選挙区と

比例代表に候補者を擁立する考えを示し、「何が何でも議席を取る。(政治思想の)右や左ではなく、何が幸福につながるのかを訴えたい」と述べた。

野原氏は桑名市出身。昭和五十四年三月に南山大学学部を卒業後、会社員を経て入党した。昨年十二月から現職。医療法人の役員も務めている。過去三回の衆院選では、それぞれ三重3区岐阜1区、東海比例区に立候補。いずれも落選した。

同選挙区には、野原氏のほかに、民進党県連代表で現職の芝博一氏(左)と自民党新人の山本佐知子氏(右)が立候補を表明している。井敏行氏(右)を擁立しているが、民主党(現民進党)に、選挙協力で協議を申し入れている。

農林水産省は
的な農法や農村
本農業遺産」と

サミット記念地酒ギフト 県内事業者が寄付

三者が昨年七月にラジオで開かれたイベントに出展したことがギフトボックスを作ったきっかけ。一セ

3構想
空港ア
首都
国交
議会小委員会

売上の一部、国際交流に

ツト一万円で四月十五日から販売するが、販売を前に一セット当たり百円を財团に寄付することにした。

県庁で寄付金の贈呈式があり、鈴木英敬知事が事業所の代表者から目録を受け取った。財団の上田富和常務理事は「日本語を学ぶ教科書の購入など、外国人の子どもたちのために使いたい」と話していた。

ス向上が目的の線」など三つの

について「国際化につながる」と化に向けた検討

野原氏が立候補表明

参院選「信頼される政治家に」

野原典子副代表(左)は七日、県庁で記者会見し、「愛する日本の政治に精神的主柱を立てたい。信頼される政治家を目指したい」などと述べ、党公認候補として夏の参院選三重選挙区(改選数一)への立候補を表明した。

野原氏は「政治家と国民が信頼し、互いに敬える政治をしたいと考えて立候補を決めた」と述べ、暮らしや国防、教育に注力すると

書される恐れがある」とし、マイナンバー制度の廃止を掲げた。消費税は「5%に戻すべき」と述べた。

県の特長について「日本の成り立ちに関わる神社や地名が多く、神話が詰まつた素晴らしい所」と説明。

「子どもたちに伊勢神宮や古事記の歴史を教えれば、自信を持ってもらえるはず」と語った。

会見には糸量子党首も出席。参院選では全選挙区と

比例代表に候補者を擁立する考えを示し、「何が何でも議席を取る。(政治思想の)右や左ではなく、何が幸福につながるのかを訴えたい」と述べた。

野原氏は桑名市出身。昭和五十四年三月に南山大学学部を卒業後、会社員を経て入党した。昨年十二月から現職。医療法人の役員も務めている。過去三回の衆院選では、それぞれ三重3区岐阜1区、東海比例区に立候補。いずれも落選した。

同選挙区には、野原氏のほかに、民進党県連代表で現職の芝博一氏(左)と自民党新人の山本佐知子氏(右)が立候補を表明している。井敏行氏(右)を擁立しているが、民主党(現民進党)に、選挙協力で協議を申し入れている。

義務教育学校は22校 今年度から制度化

改正学校教育法で2016年度から制度化された、小中学校

日本